

議会 だより

こ が し
古 河 市

第 70 号

令和4年3月1日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検 索



この先も、ずっと寄り添って…。(鷹見泉石記念館にて、約100年前のひな人形)

令和3年 第2回臨時会・第4回定例会開催

第2回臨時会は11月24日の会期1日間で開かれ、認定2件、報告2件、議案1件について審議しました。

第4回定例会は12月7日から12月17日までの会期11日間で開かれ、議案25件について審議しました。一般質問は12月14日、15日の2日間行われ、11名の議員が登壇しました。また、最終日に議員提出議案2件が追加されました。請願1件、陳情1件については、4ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

令和3年第2回臨時会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第25号	令和3年度古河市一般会計補正予算（第6号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.11.24	承認
認定第26号	令和3年度古河市一般会計補正予算（第7号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.11.24	承認
議案第107号	令和3年度古河市一般会計補正予算（第8号）	3.11.24	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案

○賛成、×反対

議案番号	政友会					古河市公明党			真政会					市民ベースの会					無会派						
	渡邊 澄夫	佐藤 泉	大島 信夫	鈴木 務	小森谷 博之	鈴木 隆	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見 久美子	渡辺 松男	黒川 輝男	赤坂 育男	青木 和夫	稲葉 貴大	園部 増治	落合 康之	増田 悟	倉持 健一	阿久津 佳子	長浜 音一	生沼 繁	小山 高正	古川 一美	秋庭 繁	
議案第107号	○					-			○								×				○		○	○	×

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

令和3年第4回定例会 議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第108号	古河市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	3.12.7	同意
議案第109号	古河市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	3.12.7	同意
議案第110号	古河市監査委員（識見を有する者）の選任につき同意を求めることについて	3.12.7	同意
議案第111号	古河市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3.12.7	同意
議案第112号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	3.12.17	原案可決
議案第113号	証明書自動交付機廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	3.12.17	原案可決
議案第114号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	3.12.17	原案可決
議案第115号	古河市国民健康保険条例の一部改正について	3.12.17	原案可決

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第116号	古河市三和健康ふれあいスポーツセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	3.12.17	原案可決
議案第117号	古河市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	3.12.17	原案可決
議案第118号	総和地区スポーツ施設の指定管理者の指定について	3.12.17	原案可決
議案第119号	古河市斎場の指定管理者の指定について	3.12.17	原案可決
議案第120号	古河市ネーブル子育て広場、古河市駅前子育て広場の指定管理者の指定について	3.12.17	原案可決
議案第121号	古河総合公園、古河市ネーブルパーク、古河市三和ふるさとの森の指定管理者の指定について	3.12.17	原案可決
議案第122号	市道の路線廃止について	3.12.17	原案可決
議案第123号	市道の路線認定について	3.12.17	原案可決
議案第124号	令和3年度古河市一般会計補正予算(第9号)	3.12.17	原案可決
議案第125号	令和3年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	3.12.17	原案可決
議案第126号	令和3年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)	3.12.17	原案可決
議案第127号	令和3年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第2号)	3.12.17	原案可決
議案第128号	令和3年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3.12.17	原案可決
議案第129号	令和3年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	3.12.17	原案可決
議案第130号	令和3年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	3.12.17	原案可決
議案第131号	令和3年度古河市水道事業会計補正予算(第2号)	3.12.17	原案可決
議案第132号	令和3年度古河市下水道事業会計補正予算(第2号)	3.12.17	原案可決
議員提出 議案7号(※)	古河市議会会議規則の一部改正について	3.12.17	原案可決
議員提出 議案8号(※)	古河市議会委員会条例の一部改正について	3.12.17	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

※ 議員提出議案第7号および第8号は、感染症や大規模災害の発生時に備えて、オンライン会議による委員会開催を可能にするために、会議規則および委員会条例を改正するものです。

請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和3年 請願第8号	「高齢者及び免許返納者・障がい者が、利用できるデマンド交通を古河市内に広げる」請願	総務常任委員会	趣旨採択 (※)
令和3年 陳情第4号	「死体埋葬許可証」に関する陳情	文教厚生常任委員会	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

※趣旨採択・・・請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われ、「趣旨については賛成」とするもの。

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党				真政会				市民ベースの会				無党派					
	渡邊 澄夫	佐藤 泉	大島 信夫	鈴木 務	小森谷博之	鈴木 隆	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	渡辺 松男	黒川 輝男	赤坂 育男	青木 和夫	稲葉 貴大	園部 増治	落合 康之	増田 悟	倉持 健一	阿久津佳子	長浜 音一	生沼 繁	小山 高正	古川 一美
議案第112号	○	欠	○	-		○						○			○	×	○	退	○	○	○	○	×
令和3年 請願第8号	○	欠	○	-		○						○			○	×	○	○	○	○	○	○	×

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。※欠席議員は「欠」と表示。

※退席議員は「退」と表示。

～選挙管理委員および補充員選挙～

12月17日に任期満了に伴う選挙管理委員および補充員の選挙が行われ、議長の指名推選により次の方々が当選人に決定しました。

選挙管理委員	補充員
下村 宏幸 氏	関 好男 氏
大谷 光輝 氏	森 京子 氏
金谷 清 氏	鈴木 源一 氏
手島 光一 氏	渡沼 博 氏

～委員会構成がかわりました～

◆総務常任委員会◆

委員長の辞任
令和3年12月9日 大島 信夫
委員長の選任
令和3年12月9日 青木 和夫

◆議会運営委員会◆

委員の辞任
令和3年12月2日 大島 信夫
委員の選任
令和3年12月7日 佐藤 泉

第4回
定例会

一般質問

第4回定例会の一般質問は、12月14日、15日の2日間行われ、11名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたどすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

写真下部の2次元コードをスマートフォンのカメラ等で読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。一般質問の臨場感を体感してください！



阿久津 佳子 議員



超高齢少子化社会の備えについて

問 取り組むべき課題に遺贈寄付と空き家対策がある。①歳入増の手段として遺贈寄付が有益と考えるのがいかがか。②空き家を未然に防ぐ方策検討において、我が家の終活を話し合い、備えをつくるのが大切と考えるのがいかがか。③遺贈寄付と空き家対策に共通することは、相続発生と遺言書を作成する文化の醸成が必要なことである。行政サービスの一つとしての事業展

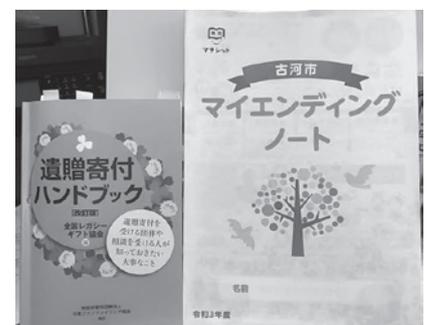
開はいかがか。④市民にとって「その対応や、やり方を知らない、正しい情報を知らない」ということが一番の不利益であり、市民向けの情報発信が有効と考えるが、いかがか。以上、所見を伺う。

答（市長） ①寄付者の思いの実現を手伝えるよう、受け入れる体制を整えたい。③空き家の問題は行政主導での解決が難しい。専門的な知識を有する団体との連携を含め、民間の力を借りながら、課題解決に取り組んでいきたい。④さまざまな機会や手法により情報発信を行い、啓発に努めたい。

答（財政部長） ①遺贈寄付の受け入れは、あらゆる課題を洗い出す必要がある。さまざまな角

度から研究し、体制を整えたい。

答（市民部長） ②空き家の発生抑制のため、親が元気なうちに家族内で対策することは有効な手段と考える。エンディングノート等を活用し、家の終活を考える仕掛けづくりを検討したい。



遺贈寄付と空き家対策の参考図書例
出典：特定非営利活動法人日本ファンディング協会発行
『遺贈寄付ハンドブック改定版』



落合 康之 議員



一國二制度について

問 今をさかのぼること17年、平成16年11月17日に開催された第10回合併協議会において廃棄物処理計画が審議され、調整内容として平成20年度を目途に再編すると決定。ごみ収集の方法については当面は現行の通りとし、合併後新市において再編すると決定した。

しかし、実際は平成21年に私が一般質問を行うまで、旧古河地区の可燃ごみの収集回数は

週2回のままであり、3地区での収集回数も不揃いのまま一般廃棄物処理基本計画が策定されたのも平成21年のことである。

合併して16年。針谷市長になって5年が経過したが、一國二制度の是正に向けてどのような取り組みをしてきたのか。

答（市長） 市長になって、さしま環境管理事務組合の副管理者という立場になり、管理者会、副管理者会の中で、古河市のごみの一元化のために、さしま環境事務組合の寺久でのごみの受け入れを申し入れしている。その後、最終処分場をどこに造るのかという問題があり、ごみ処理ではこれが最重要視される。次に処理施設、収集の仕方あるいは分別の仕方という順番に

なってくる。

私は議員時代から、ごみの一元化は必要であると考えており、市長になってからもその思いは変わっていない。しかしながら、さしま環境管理事務組合は2市2町の相互理解が深まらないことには最終決定に至らないというのが現実である。ごみの一元化については進めていく。



《その他の質問》

- ・古河駅東部土地区画整理事業について



長浜 音一 議員



農業基盤の強化策

問 実質化された人・農地プランの推進、農業者団体と該当する地域・地権者との連携について伺う。また、実施に当たっては、都市計画区域における市街化区域と市街化調整区域、農振地域、経営規模、専業・兼業による農業形態等に区分けして取り組む必要があるが、見解を伺う。

答（産業部長） 人・農地プランを公表したことにより、さらな

る区分が必要だと考えている。関係団体等と連携を取りながら、施策を展開していきたい。

教員の長時間労働の改善策は

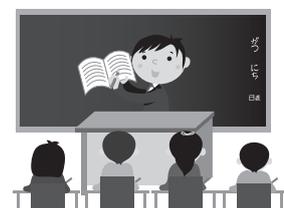
問 教員の長時間労働の改善策は、働き方改革による時間外勤務削減である。子どもたち一人一人が輝く教育には、教育活動指導員等の配置のみでは、限界領域にある。教員の定数増なくして本質的な問題解決に至らず、国・県への積極的な要望をすべきであるが、見解を伺う。

答（教育長） 創意工夫をしながら教員の勤務時間削減に取り組んでいきたい。予算については教育長会議で要望しており、粘り強く要望をしていきたい。

主要事業の推進体制の現状と今後

問 各事業はプロジェクトとしての体制が取れているか。また企画・計画・実施に当たって、誰がどこで議論して意志決定をしているのか。さらに事業の達成年度、目標設定等、進捗管理は明確か。市民の参画に対する見解は。以上について問う。

答（企画政策部長） 主要事業の一つ一つが市の魅力向上や持続可能な都市づくりに向けた大切な事業である。推進体制にも配慮し事業実現に努力していく。





青木 和夫 議員



市政全般について

問 ①人口減少問題について現状認識と具体的な取り組みは②古河駅東部土地区画整理事業の事業完了後の構想と完了はいつか③(仮)南古河駅の設置は起爆剤が必要と思うが、今後の取り組みは④筑西幹線道路の整備の計画と具体的な取り組みは⑤未来産業基盤強化プロジェクトの予定地、規模、目標年次について⑥防災・減災体制の危機管理体制は万全か。雨水対策は⑦公

共施設の再配置について、今後の方針、学校の統廃合の方針は。

答 (市長) ③新駅設置に向け、あらゆる可能性を探りながら取り組んでいく。⑤境古河インターチェンジ周辺を候補地とし段階的に開発していく。

答 (企画政策部長) ①古河市の人口は2000年をピークに減少している。地域資源を生かした取り組みを通じて人口減少を最小限に食い止める。

答 (総務部長兼危機管理監) ⑥防災機能を三和庁舎に一元化し、民間企業とも応援協定で連携を図っている。慢心することなく、万全となるよう日々努めていく。

答 (財政部長) ⑦長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化等を行い、公共施設全体の最適化を

図る必要がある。

答 (都市建設部長) ②新市街地は、住宅地形成、商業施設等複合的な市街地形成を目指し、早期完成に向け取り組んでいく。

④新4号国道柳橋北交差点から西側区間の概略ルートは、早期事業化に向け要望を行っていく。

答 (上下水道部長) ⑥雨水被害軽減のため古河市雨水管理総合計画の策定を進めている。

答 (教育部長) ⑦学校の適正規模や適正配置について対応を検討していく必要がある。



園部 増治 議員



真政会「令和4年度予算および事業に関する要望」より

問 新型コロナにより、行政自治会や自主防災組織の活動が休止となり、地域力の低下が懸念される。再開に当たっては、十分なサポートをお願いしたい。

答 (市長) 人口減少等の課題解決のため、まちの活力維持、活性化は重要である。

答 (市民部長) 自治組織が地域の特性に合った活動ができるよう引き続き支援していく。

問 市長と語ろうまちづくりの中で新駅設置の要望があった。周辺整備も含め、大堤南部土地区画整理事業の事業認可に向けて動き出していきたい。

答 (企画政策部長) 現在、大堤南部地区の道路拡幅整備等を進めている。新駅設置に向け、できることから行っていく。

答 (都市建設部長) 大堤南部土地区画整理事業は、新駅整備と歩道を合わせ進めていきたい。

問 筑西幹線道路は、三和、総和、古河地区を結ぶ交通網として不可欠であり、災害時における避難路にもなる。都市計画道路とともに整備を望む。

答 (市長) 筑西幹線道路の延伸

は、非常に重要と認識している。

答 (都市建設部長) 県に早期事業化への要望を継続していく。

問 国道354号線と4号線が交差する大堤交差点付近は、渋滞が激しい交差点として県内でも有名である。渋滞解消を望む。

答 (市長) 継続して国や県に要望活動を行っていく。

答 (都市建設部長) 大堤交差点交通量調査結果を国、県と共有し連携して取り組んでいきたい。



国道354号線の渋滞状況



黒見 久美子 議員

子宮頸がん予防ワクチン接種について

問 子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨が再開され、来年度から接種が始まる見通しとなった。定期接種対象者への通知実施や、勧奨中止の間に接種を逃した方への救済措置など市の所見、課題等を伺う。

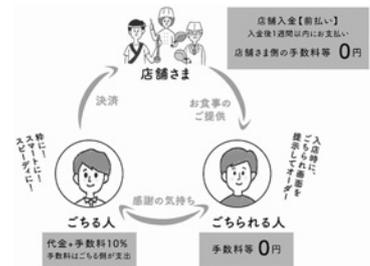
答（健康推進部長） 積極的勧奨の再開については、厚生労働省より令和4年4月からの順次実施や留意点が示された。今後

の通知方法は古河市予防接種委員会で検討していきたい。救済措置に関しては、国が公費による接種機会の提供等に向けて議論を開始している。市としては方針が決定し次第、医療機関等と連携し取り組んでいく。

子ども食堂助成事業導入について

問 子どもが一人でも行けて無料や低額で利用、また孤食の解消や食育、さらに交流の場の役割を果たす子ども食堂であるが、ボランティアの協力や資金などの課題も多い。アプリケーション「ごちめし」を活用し、登録している飲食店で食事の提供を受けることは貧困家庭やコロナ禍では必要であると考えているが市の所見、課題等を伺う。

答（福祉部長） 「ごちめし」は不特定の子どもの飲食費を軽減できるが、地域に密着したコミュニティの場となることが理想と考える子ども食堂の理念、目的とは異なるアプローチ方法とを感じる。それらをどう整理していくか、また、事業に参加していただける飲食店の募集や提供食数、費用の助成、資金調達が課題である。アプリの活用で、子どもが食事を食べられる効果はあると思うので、今後、手法について研究したい。



ごちめしアプリの境町子ども食堂より引用



高橋 秀彰 議員

流域治水の推進について

問 気候変動がもたらす激甚化する水害の対策では、堤防の強化や河道の掘削、雨水幹線の整備等、現在の治水対策を加速するとともに、流域全体を俯瞰し、河川への雨水流出抑制対策や流域における雨水貯留機能の充実等、流域治水を柱に据えた治水対策が必要と考えるがどうか。

答（市長） 国が流域治水を推進する背景には、近年の激甚水害

の頻発や、今後も気候変動による降水量の増大、水害の激甚化、頻発の予測がある。市としては、国や県、流域自治体と連携しながら、水害を軽減させる事前防災対策に取り組み、安全安心の確保に努めたい。

答（総務部長兼危機管理監） 古河市地域防災計画に河川改修、雨水流出抑制施策の推進、雨水貯留施設等の設置についての項目があり、流域治水関連法に基づき再度見直し、文言の追加を行っていきたい。



増水している渡良瀬川

带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

問 日本人の成人の90%は、带状疱疹の原因ウイルスが体内に潜伏している。ワクチン接種を行うことで、免疫力が高められることができる。市民の健康を守るためにも、带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成の推進が必要と考えるがどうか。

答（市長） 带状疱疹については、ワクチン接種により発症を低減し、重症化を予防できると伺っている。市民の健康を守る観点からも、ワクチン接種の必要性は高いと理解している。国が定期接種化を検討している審議会の動向を注視していきたい。



佐藤 稔 議員



「グリーンインフラ」の取り組みについて

問 CO₂の削減や防災・減災などの地域課題の解決を進める中で、今後の本市における社会資本整備や土地利用においては、ハード・ソフト両面にグリーンインフラの考え方を、積極的に取り入れる事が重要と考えるが、市の考えを伺う。

答（企画政策部長） グリーンインフラは、自然環境が持つ多様な機能や仕組みをインフラ整備

や土地利用等のハード・ソフト両面に上手に活用することで、自然環境との共生のみならず、防災、減災、地域の魅力向上や活性化等の課題解決に貢献し、持続可能なまちづくりに寄与する取り組みであると理解している。グリーンインフラの推進は、SDGsの目標達成にも寄与するものであり、前向きに対応していく。

高齢者の「スマートフォン操作支援」について

問 社会のデジタル化が進み、スマートフォンは生活必需品であるが、国の試算では60歳以上の約2,000万人が、スマートフォンを利用できないと見込んでいる。デジタル格差の解消に向けて本市においても総務省

が主催する無料の「操作支援講習会」の開催が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（企画政策部長） 近隣の小山市では、テレビ小山放送株式会社と連携し、講習会が運営されている。デジタル社会の恩恵を全ての人が享受できるよう、国の事業の活用も念頭に置きながら、他市の事例等を参考に検討を進めたい。



羽村市シルバー人材センター主催の講習会
(公明党ホームページより転載)



古川 一美 議員



太陽光発電の問題点について

問 脱炭素社会に向けてゼロカーボンシティ宣言をした。太陽光発電は年々増加しているが、自然破壊や災害、住民トラブル、最終処分、中国資本の参入、また人権弾圧が問題となっている新疆ウイグル自治区から太陽光パネルが輸入されていることも懸念される。①太陽光発電の件数②住民トラブルの現状と解決策③中国資本の件数④市民生活を守るため国・県に必要な措置

を提言する考えはあるか伺う。

答（市長） ④太陽光発電などの再生可能エネルギーは、国が推進している事業と認識している。必要な措置の提言については、県を通じて行っていきたい。

答（市民部長） ①市内の認定施設は971件、うち設置済みが625件である。②現在、進行中の案件が1件あり、解決に向けて対応している。③事業認定を受けた971件のうち130件は、代表者が中国人の事業者となっている。



管理看板・柵のない太陽光発電設備

子育て支援について

問 子育てしやすい環境整備を求める声を多く聞く。以下の要望についてご所見を伺う。①未就学児や小学生を安全に遊ばせる場所を増やせないか②医療費の窓口負担を無料にできないか。

答（福祉部長） ①子どもが遊べる施設、公園整備などの要望は承知している。実現できるものから順次取り組み、子育て環境の向上を図っていきたい。

答（健康推進部長） ②現在の医療費無料化は県のマル福を市独自の助成制度で補完しており、窓口無料化には、県医師会等の協力・連携が不可欠のため導入は困難である。県へ窓口負担撤廃の要望を引き続き行っていく。



秋庭 繁 議員



ワクチン接種と無料のPCR検査の拡充について

問 古河市は、県内でクラスター件数が1番で感染者数は4番目である。「コロナ感染をどう防ぐか」という議論、対策が取られたのか疑問だ。今後の第6波ではワクチン接種とPCR検査で「感染の早期発見・保護で感染拡大を防ぐ」流れになっている。無料PCR検査を1回限りでなく、回数制限を撤廃すべきでないか。

答（市長） 市としても、市民に精神的な安心安全という部分も含めて検証し、回数制限についても経過を見て、場合によっては撤廃も考えていきたい。

福祉灯油について

問 原油高騰に、政府も自治体が福祉灯油を実施した場合の特別交付税措置を明言。市は、高齢世帯などに福祉灯油などの検討ができないか。

答（市長） 先進地事例は、ほとんど寒冷地であり、命に関わるという判断だと推測する。市としては今後も全市民、あるいは生活困窮者にきちんと生活を成り立たせることができるような施策展開を進めていく。

違法・危険な産廃残土の撤去について

問 県の調査で、市内3カ所を危険箇所としている。残土の調査と撤去等今後の対応について何う。

答（市民部長） 残土等の不法投棄等については、地域住民の通報が重要な情報源となっている。市民からの連絡をいただきながら、積極的に対応していきたい。



民家に迫った危険な盛土



小山 高正 議員



教育について

問 学校手洗い場蛇口について①非接触型自動水栓は停電時に水は出るのか。また停電時手動モードの有無について②自動水栓とハンドルタイプで感染症リスクに差は出るのか③既存水栓をレバー式への交換を提案する。また、給食費未納問題について、④給食費未納をなくすため、就学援助制度の活用や児童手当からの差し引きを求めるが見解を伺う。

答（教育部長） ①現在設置の水栓は、停電時には水が出なくなる仕様であり、手動モードへの切り替えもできない。②水栓の仕様による感染リスクに関する具体的なデータは見当たらない。③大規模改修時には、災害時を考慮して自動水栓と手動水栓の併用を検討していきたい。④給食費のシステム導入と併せて、児童手当から給食費を差し引くことができるよう検討している。



市民生活の向上について

問 業務の効率化における①業

務自動化の費用対効果について②コガノイロで避難所混雑状況を公表できるか。次に人権に配慮した投票所の運営について③市内の投票所で障がいのある方へ合理的配慮に欠けた対応があったが今後の対策について何う。

答（企画政策部長） ①作業時間はおおむね50%削減できている。自動化により、人為的な入力ミスがなくなるなど副次的な効果もあり、費用対効果は高いと判断している。②今後、避難周知ができるようにしていきたい。

答（選挙管理委員会書記長） ③次回からの投票事務説明会において、補助の仕方や車椅子利用者への対応方法等を丁寧に説明する。また、担当部局と連携し、職員の意識向上に努めたい。

常任委員会市内視察報告

各常任委員会では、事業の進捗状況や施設等の状況を把握し、議決機関としての適切な判断を行うと同時に議員の資質向上のための研修的要素を併せ持つ市内視察を実施しました。

●総務常任委員会（9名）

委員長 青木 和夫 副委員長 靄見 久美子

委員 古川 一美、阿久津 佳子、大島 信夫、高橋 秀彰、落合 康之、鈴木 隆、園部 増治

所管事務 企画政策部、総務部、財政部、市民部（環境課および交通防犯課）会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に属する事項 他

視察日 11月9日（火）

- 視察地
- ①古河市斎場【斎場施設機能整備事業】
 - ②古河市イーエス中央運動公園【ネーミングライツ事業】
 - ③三和庁舎災害時の体制【災害対策事業】
 - ④古河消防署駅西出張所【駅西口地区消防施設整備事業】
 - ⑤ITに係る庁内での活用状況【IT活用推進事業】



古河消防署駅西出張所

●文教厚生常任委員会（8名）

委員長 佐藤 稔 副委員長 小森谷 博之

委員 小山 高正、秋庭 繁、佐藤 泉、長浜 音一、赤坂 育男、倉持 健一

所管事務 市民部（環境課および交通防犯課を除く）、福祉部、健康推進部および教育委員会の所管に属する事項

視察日 11月8日（月）

- 視察地
- ①西牛谷小学校児童クラブ【児童クラブ施設整備】
 - ②上大野小学校【複式学級】
 - ③尾崎国民健康保険診療所【診療所の施設管理・運営】
 - ④三和健康ふれあいスポーツセンター【空調設備の設置】
 - ⑤市民総合窓口課【おくやみサポートコーナー、混雑ランプ】



西牛谷小学校児童クラブ

●産業建設常任委員会（7名）

委員長 稲葉 貴大 副委員長 鈴木 務

委員 生沼 繁、渡辺 松男、増田 悟、渡邊 澄夫、黒川 輝男

所管事務 産業部、都市建設部、上下水道部および農業委員会の所管に属する事項

視察日 11月4日（木）

- 視察地
- ①思川浄水場【粉末活性炭注入設備工事】
 - ②古河駅東部土地区画整理事業地内
【向堀川河川改修事業・古河駅東街路事業】
 - ③仁連地区・新規就農者【農業次世代人材投資事業】
 - ④HARIO株式会社 古河工場【市内企業視察】



HARIO株式会社 古河工場

～ 会派の活動を報告します ～

政友会

政友会は12月9日に令和4年度予算要望書を針谷市長に提出しました。

- ①若年層へのワクチン接種の更なる推進および第6波（オミクロン株）への備えとして3回目のワクチン接種の迅速な対応
- ②市独自のPCR検査助成および自宅療養者への食糧等の支援継続
- ③安心して働き、子育てができるように適切な子育て支援体制強化（助産師との連携体制強化・隠れ待機児童）
- ④高齢者世帯へのごみ出し支援
- ⑤安心・安全なまちづくり（冠

水時の対策として中央運動公園の新たな進入路確保等）

- ⑥文化センター（アリーナ方式）建設の早期実現
- ⑦ドッグランの設置（候補地は古河公方公園、道の駅まくらがの里こが、古河産業技術専門学院跡地）
- ⑧スポーツ施設の充実（スケートボードパーク）
- ⑨古河市サッカー場の整備（照明設備・控室や更衣室等修繕）
- ⑩未来産業基盤強化プロジェクト実現に向け推進

以上10項目です。新型コロナウイルス感染症に対する市独自の支援制度および第6波に向けた対策は万全を期することを切に要望します。さらに12月17日に

は18歳以下の子どもへの10万円特別定額給付金の現金一括支給を要望しました。政友会ではコロナ対策、少子高齢化、安心・安全なまちづくり、スポーツ施設、あらゆる産業面の発展等を推進し、今後も市民の声に傾聴しつつ積極的に研修会、勉強会を行い、市民生活の向上と住みよいまちづくりを目指し、活動してまいります。



会派要望書提出

古河市公明党

古河市公明党は昨年8月30日、長引くコロナ禍における「コロナ感染拡大防止に関する緊急要望書（4回目）」を、針谷市長へ提出しました。公明会派からは、円滑なワクチン接種に向けて、接種スケジュールや運用上の体制強化、副反応に不安を抱える市民への丁寧な情報発信などを訴えました。



4回目の緊急要望書を提出する古河市公明党

また、11月18日には「令和4年度予算要望書」を針谷市長へ提出しました。今回の要望書では、総務関連施策として、①「ユニバーサルマナー検定」の導入。②公共施設のバリアフリー化の推進。③各種料金の支払いに「ペイジー決済」の導入など17件。文教厚生関連施策として、①未就学児の交通事故防止のための「キッズゾーン」の整備。②「障がい児用よだれかけ」の購入費用に助成制度導入など21件。産業建設関連施策として、①災害時の情報伝達手段「クレバーメディアシステム」の導入など11件。合計49項目の政策要望書を提出しました。

この要望書は「安心して暮らせる温かな街づくり」を目指すために、そして「市民生活のさらなる向上」を目指し、日常の議員活動の中で市民の皆さまから頂いたご意見やご要望を、形にすることを目的としています。

古河市公明党は今後も、住み良い街づくりのために、全力で取り組んでまいります。



予算要望書を提出する古河市公明党

～ 会派の活動を報告します ～

真政会

新型コロナウイルスの発生から2年が過ぎ、新しい生活様式にも違和感が減ってきていますが、まだまだ予断を許さない状況が続いています。1日も早い終息を祈っております。当会派といたしましても、研修会や先進地視察などは避け、古河市の課題等について会派内での意見交換をして、針谷市長へ令和4年度の予算および事業についての要望活動を行いました。

要望の内容といたしましては、市内保育所の保育体制の充実や郷土に誇りを持って思いやりの心を育てる教育の実践をは

じめとした、子育て支援と豊かな教育の実現。県との連携による企業誘致および工業団地の造成、地域資源を活用した古河ブランドの発掘・発信をはじめとした産業の振興。台風や大雨等による災害に備えてのハザードマップの活用や避難所の運営、自主防災組織の育成等を主とした災害に強いまちづくりの推進。「筑西幹線道路」「古河駅東部土地区画整理事業」の早期完了、産業文化拠点の整備、さらには住友商事をはじめ民間活力を導入したまちづくり等を主とした先導的プロジェクトの推進。高齢者や障がい者の社会参加の推進、コミュニティー活動の推進を主とした市民とともに

歩むまちづくりの推進など市政全般にわたり、令和4年度の予算編成を鑑み要望いたしました。

今後とも、市民の皆さまが夢を持てるような古河市を目指し、住民福祉の向上と市政発展に努めてまいります。

(なお第3回定例会、園部増治議員の議員提出議案第4号の採決【議会だより第69号掲載】の真意は賛成です。)



市長へ令和4年度予算および事業に対する要望提出

市民ベースの会

オンライン学習授業の現状を視察するため、会派有志で古河三中を訪問いたしました。

当该校ではICT教育に精通した教諭が先頭になり、創意工夫を凝らした授業が行われていました。また、自宅でのタブレット学習が難しい生徒には登校を許可し、対面での授業が行われ、学校教育の最先端に行くハイブリッド方式を取っていることが分かり、安心しました。これからも古河市の義務教育をどのような環境下にあっても止まることなく保障し、常に前進してゆくことを願っています。先

生方のご労苦に感謝申し上げます。

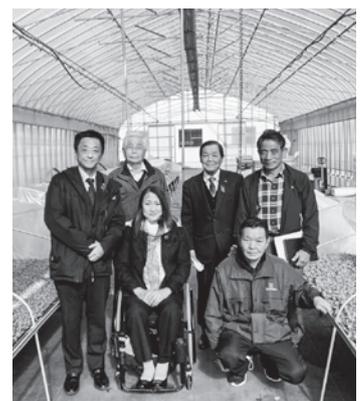


オンライン授業の様子

また、市内農業者における新型コロナウイルス感染症による影響を確かめるために、認定農業者の会長さんが経営する農場を視察させていただきました。

説明を受け、昨年来コロナ禍の影響をまともに受け、出荷額が前年度比約15%落ち込んでいることが報告され、農業の現場にまで暗い影を落としている

ことが分かりました。さらに、説明は営農、就農と農業全般にわたり、耕作放棄地や農地集約の問題、後継者を育成するための「儲かる農業」「魅力のある農業」についてディスカッションもさせていただきました。基幹産業育成のために知恵を絞ってゆきたいと思います。



市内農場視察

古河市議会講演会 を開催しました



1月20日、日野自動車株式会社古河工場工場長の江原和司氏を講師に、「自動車業界を取り巻く環境変化と日野自動車の取り組み」と題したオンライン講演会を開催しました。

議会の傍聴について

傍聴の際は、マスク着用を含む咳エチケットをお願いいたします。また、体調のすぐれない方（咳・発熱など）は傍聴をお控えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

インターネット中継も行っておりますので、下記の2次元コードよりご視聴ください。

第2回臨時会の傍聴者数

本会議	1人
委員会	1人
合計	2人

第4回定例会の傍聴者数

本会議	39人
委員会	2人
合計	41人

※傍聴者数は延べ人数

◆◆◆ 令和4年 第1回定例会の会期予定 ◆◆◆

月日	会議	内容
3月3日(木)	本会議	開会、議案の説明
3月4日(金)	休会	議案調査
3月7日(月)	本会議	質疑、議案の委員会付託
3月8日(火)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
3月9日(水)	常任委員会	文教厚生常任委員会
3月10日(木)	特別委員会	予算特別委員会
3月11日(金)	特別委員会	予算特別委員会
3月14日(月)	特別委員会	予算特別委員会
3月15日(火)	本会議	各会派代表質問
3月16日(水)	本会議	一般質問
3月17日(木)	本会議	一般質問
3月18日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○時間は午前10時からの開催予定です。

○産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。

※変更される場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

議会の様子・会議録 を見てみよう!

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録

編集後記

昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった一年になり、生活環境が一変しました。早く以前のような生活に戻ることを願うばかりです。

今号では常任委員会視察報告や会派の活動報告など議会活動を掲載しています。また、一般質問掲載ページの各議員写真下部に2次元コードを追加してあります。本年も開かれた議会を目指し、より分かりやすい議会だよりの編集に努めます。

委員長 小森谷 博之

【議会だより編集委員会】

委員長 小森谷博之
副委員長 鶴見久美子
委員 鈴木 務 稲葉 貴大
落合 康之 増田 悟

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎0280-22-5111 (代)